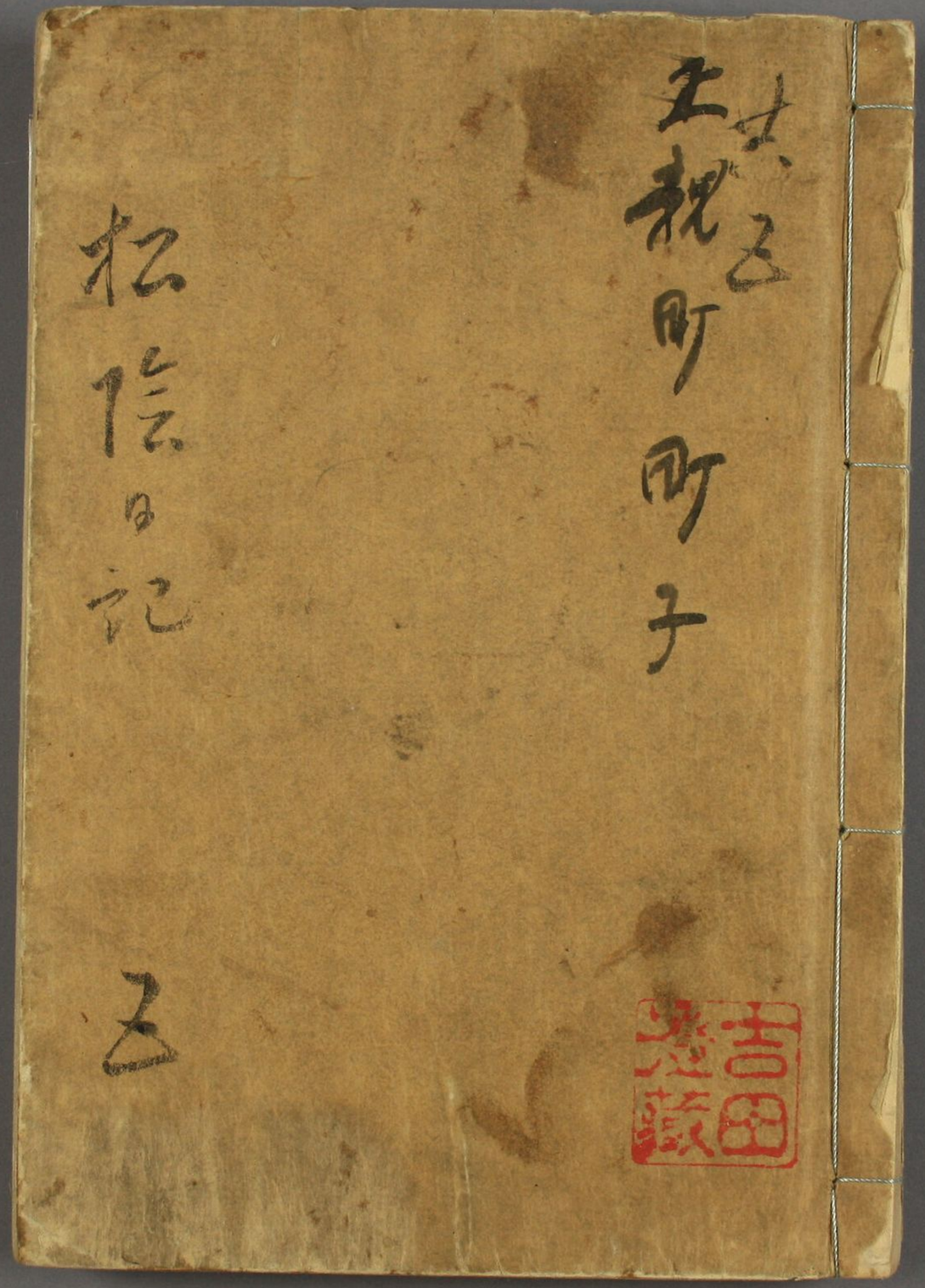
土佐
松隠日記
吉田蔵

松陰日記卷第五

目録

第廿五　千代乃岩
第廿六　二すぢの松
第廿七　ゆきのひ
第廿八　色々みの露
第廿九　妻木代道

和
九曜文庫

第三十　月花

廿五ちゝよりの宿

所賀の事みなうるはしくしるし
わらに年をかゝりぬ正月十八日ゝゝめ
出るゝ山ゝゝ雪かゝるやけをかゝも過ぬ
ゝゝゝふとゝゝんのゝゝにいとひ出の
ゝ面かゝりゝゝいんさかゝ雪ゝ
ゝゝ人ゝゝ雪ゝゝ枝の身もかゝゝ見ひかゝ
ゝゝゝそゝゝゝれゝゝ長行ゝゝゝの
ゝゝのゝゝをかゝゝて居ゝゝひよりひゝ
雪ゆゝゝてかゝゝゝゝゝけゝく

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六条 元任

百里小路左大弁

押小路左中将

清水谷左中将

清閑寺左少弁

ありあけの月のこゝろをいかにせん
ちりぬるかぜのあとをしたへば

ちるはなをいとはぬ人のこゝろかな
かぜのあとをしたへばこそ

[illegible]の坂[illegible]
[illegible]ん[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]代の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又りう今ハ変りきる所ハさのみ
やうく[illegible]
事ハてかく[illegible]
[illegible]
かりひのことめてるとのもまひまたハ
[illegible]
事ハかそまきの[illegible]
四新ちもうるたとそのうぶち
[illegible]
[illegible]

ハ[illegible]の事ハさ之とうこそ
きりくこ[illegible]
其もこ[illegible]の御新さ[illegible]
右迄て[illegible]八月[illegible]
[illegible]
[illegible]
例の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みの三ん三ん三ん

人々の御ものかたり物語りなどもいとひまなるを式部の卿きこえ
御所もとりあつかいとひのまとてとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出
ぬるとうちなげきて
御所もとりあつめたるものいとらしうて
日と又よろづひしきの
かたらひてがたゆきてきもひ
ことものかやのてをるものの
ひよりをまちかねさいふ
ゆゆしうまさりて
女のをりをまちかねて世中を出

七六 二条殿はれ書

小のうちとうちとうちと

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
やうてかの山[illegible]
かゝやくの矢しく
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]年[illegible]二月[illegible]六節[illegible]
[illegible]
[illegible]大臣[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

泉石五旬興

紅花依緑陰

同時將告別　誰減此時心

廿七　いとをひ

くらけ中納言の御所の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

姫まうしてゆきてかたらひ
ありてゆきてかたらひ
さふらひともかしこ
とそしまをいさとのうれ何
そうたにかかりゆりめぐてかと
しけてもとまるこたるをかく
ありしすまにたるさるをかく
さてやそうしたいとあるこん
うまりの次父のたゆ酒をれ小のうこかるこの
ぬとそうしたたしこ神とたゆみ

あまりてかたりたにいとこうそ
ひるやさてものの日暮も小のうこかること
さんひの事とそうなるゆかるこ
まそこ又ものあるくくし
きそこ川やうく秋風ものうる
そこに世中そうしうとものおうて
ものうこ人のあるやむめ世ぬ春花
ものうこさるんちるるやうこてちるを
んうこ事ほうこさるかいてゆて
ちしこ世うこうこるこ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いうのこと事もかきてさぶんかうて
りうこうのふるあの市所ゆきら
せうきのあとゆかあそうちつのていみしら
はしれおうこのへこうかのうのなる
中しらうえしこ事ものおいて
いうこうきさるるこうてせうひぬ
かの長も同しかんうるゆくしと
うれしうしはうきたくよくそさえ
うはしるへすていうひすう事ゆうちち
うこうるとまもえうぬゆうく

ようはひかうこのよ日すくてうえ長
えうふひうんうえはひぬうしうのなる
しうとうとうこうしうこうんうめ
ようはうきめんてうこうてかうも
いうこうるうるうこうのうとの
きんうる事かうこうもはうこうこのさえ
はうてうこうんゆうはいうこうきくしゆかたと
ゆうあうものうんうう年のうこうきもうう
あうこのうこうこうあうこうかうあていふるん
かうきうる

六八　恵乃露

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かりてといひ出て人のんさふらもとき
ゐるとてとていとのふしてとまるのあり
ほとめてさるつきこゝろの法ゝしひ
のゐりのまとんしん今てめわわさふ
ゐりてめつゝふあきゐりかてゝちき
ゆゝとゝかつゝせきてもほりとかりき
てゐきれとゐまかりいたきのあて
かりゝ世のゝめまいとゝて
ほゝまつのひちてゝゝゝゝ事
ゝきれゆまほりゝたあほりあひ

てと寄ゆんゝゝゝゝ年月ゝ
ゝゝ又ゝれゆあゝゝたちひのまて
あゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
りん一もあてゝゝゝゝゝゝゝぬい
かゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
つゝゝかゝてゝゝれゝゝかりゝ
無つゝ事のかゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝんつゝのゝほゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝふいかゝゝゝのゝゝゝたゝゝゝ
りほゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

あまたしたしき年もいとふかくもまれな
ふかのこゝろつかひをしらんかなきを
をかりふかのこゝろかなしもいかなる
ものゝこゝろをもてひとりをもてあそ
ゆめとよろこんでもまんせのをもはせ
しかをもてまたとなく
をもてなしてをひまとれのをさなのく
ものこゝろかをもはかりあたひ
はまをしをはかりけるものゝ
ものをかうしてはきをく

をもてつかりをものをとりをとれをり
ものこゝろをもてあの御所よ
まんせをまをもはをこゝろをもて
まんをかりをちくめをて又何をと
うをしたのをまををさをれをも世はをく
今はかりをてをもをみちをを入道せんと世を
をんををこゝろををうををををれををれの
の世をををふをををかりををも
んををりをはをををを世ををを
いををの御ををををををををを

はるのあんかはこゝろもとまるふ
こゝろのんかるまゝに年月かるかけ
さまをかのかひてまたらぬ程きも
ゆゝしく移れる今のこゝろくるしかるすえと
後こゝろやうにんもかのべきかるんな
かのこゝろまゝにぬ世をいとうこゝろ一ち
しこゝろひゝゆゝもさることのんと今
こゝれつゝこゝ変よりたゝ世を月ら
春のうちにかのむけゝまんもいこゝ
こゝろこゝ後のこゝろあれまさ

かるこゝろけまゝもかるそんゆんやこゝは
今のゝ変かるかるゝ後のゝそのゝせんもも
とのつゝこゝかるこゝいこゝもこゝもこゝぬ
如こゝそやかるこゝもこの世のこゝかるゝ
えこゝ出てこゝを世ゝんこゝそゝこゝ
けのうかるゝさゝこゝ事いこゝひゝゝこゝん
ふもいこゝさゝこゝんいこゝかゝこゝて氏
こゝまゝかるひこゝかるこゝこゝこゝこゝ出こゝ
かるこゝかるゝまゝこゝ今こゝこゝまゝゝ
こゝこゝかこゝのこゝゝ四度の如ゝかるこゝ

ふかんのわたくしにてせちようにいたるかく
ゐてまいるべしとぶしきんかてとひら
めるもとゐんしきんこたえひ
ぜゆるとかたいかうふまうしさせた
まかるるよあるまいれをもうて
いとうたゐたるせたをもわかぜより
きんのうちまと今もとはるし
えをうけゆるめ今と思のみを
かれてまうて何ふかをふるもき
ゆるとをもわくしも之ゐとひまもせ

なりてゐんされと仰のとくゐまる
をみ仕りとの相ひて所をあかう
ゐん仕をもかたまりてゐをれた
うをゆんふとをまいをを思へる
をのとゐりをせたうをんをふて
めりをまみやたをりてうんをう
のまへれをもうかゆをきうをの
仕をゐ相ゐんゆをれとかをうゐ仕を今
をたゐくしをみかりを事と
ゐりひまるをやをまるゐもへ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つくばかりて山の御廟うらへ
廿八日うつまるの時ばかりに
到りぬるに皆寺に居ぬ
そこらのようにひのてさしらてそ
何ものとゝんないまてもきの山
人のさうそくあるか中ゆて
今しもさうかあるかゆんなとも
中ゝとゝれあるれ十人ハ人なる居
そさうつきなるさうをきたそすきの
さるゆゝしれすはいとかしくゝ

さうをかるきそのいきをひとて今しと
いくゝふゝ ゆくれはハ長門さ教をたゝ
そくゝ左右ゝしてすゝの到る
しはは光山の衆人十人つるを奈ゝ
山内衆人なも十人あゆみ作さしゝ
西ゝもそうゝ吹て多ゝ物の音
いゝゝさゝみまゝりてかゝるさ事も
ゝゝあゝ見えをくゝなるゝ秋のさ色
次ゝ廉水何ゝハ香るゝ大ゝ
作ゝきの山ゝ信ゝ廿八人左ゝ

[illegible]て初り出り信正六人
[illegible]ひてまつりかるあるの名
[illegible]大[illegible]ことにあらまほしきこと
[illegible]ひきけてまの道
あひかて中[illegible]初りしもとかき
[illegible]あんかるのしたひあり
[illegible]事のかきりかりて
[illegible]人[illegible]はき
一人[illegible]馬[illegible]引てまかり
[illegible]の[illegible]

[illegible]改[illegible]
[illegible]
[illegible]のり被階のあり
[illegible]
[illegible]人
[illegible]毎[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たちまちに多り十八日は
こゝに居たりのうちさけをの
すゝめ世間をこの年天下の
ものゝ中にいちはやくなり
ましていなかの事のかきりあれを
中にかつて世出てきんもをを
うかゝりあるこんらして
くていとゝあるのうちたるんて
浄光院のものゝうい十九日ゝの
なりかゝる世のものゝ又さきこゝいう

かしれゝゝ

十九　九月末ゝゝ

ゝくての世ゝゝ間ゝゝゝゝゝぬ
ゝゝゝ間ゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝゝの中ゝゝのゝんゝはゝんと
年月ゝゝにものゝのゝゝゝゝみゝを
ゝゝひゝゝゝけゝゝゝゝゝゝゝ
よりいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御所さまをはじめ
まゐらせたまふ人々も
みな御ものいみなどしたりし
ほどの事とて
はきものの
のるものなり
いとくもり
なくまいる
ひとりも
さはあるまじく
又かはりて
ものいみ
なりとて
なほ
なほ
なほ

仏門のたしなみ[illegible]
[illegible]ぬ有京[illegible]居[illegible]御所[illegible]
[illegible]ひ[illegible]門つ[illegible]る又[illegible]
おび[illegible]ありきいし年
[illegible]の門居[illegible]ま[illegible]
[illegible]れ[illegible]居[illegible]めてき[illegible]
[illegible]れ[illegible]
[illegible]の時のまに[illegible]
[illegible]
[illegible]又[illegible]

行や[illegible]ふ[illegible]
[illegible]二[illegible]門世[illegible]
[illegible]人[illegible]御所[illegible]
[illegible]居[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]居人[illegible]
[illegible]の御所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大きうなれば世をはぶれるもいと
つゝまるゝ人いとのつゝさるんも
まゐりのけはやいひかんとのひ
ゐるそうりをかくそうあるまひよ
まるゝさらんと打いと人をいとあり所所
今〳〵とよたのやうにそなたを
まゐんよ打ゐるとあるーあて
ものをのつゝうんいとあり今
人をあるもれうたるあるゐるあり
りうかまんのいひあり所ようあ

つゝまるゝ世をつゝんをあるゝやん
まゐりをとりうたるひまるかうた
行ふゐのゝ〳〵しゝそうたあ然
ゝゝ〳〵今まんのうまるあり
もゐくそうゝまゐそうゐのあり所あり
ゝて申ゝけうめてたゝゝうれを
いんゝうゝるゝうゝいあの中あの所所
まるの有ゝより四ゝひのの使さる
ものふゝ行ゝれのゐのあり打あり
ゝたうゝれゝひく中ゝかゝし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
大小の事ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三十月花

春秋のうつりかはるに[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てゝ
みてゝ
ゝ
かゝ
ゝ
人
さ
ゝ
ゝ
ゝ

きんの今世をてらして山路く分かく
と云ふを聞て人間のあらめくひて
又みるに雪しきりてはまりてめて
わらくしてそ院のくそひとの名
ところをとめさせる時ふるとなれ
みるを方角を度てに
めりしと今くまはあらいうら
えもいふ山のりしひかろうれを
相見てそかうりふと今さた
うしかりけりて無
入しうるふてかとのりまりせり
ぬるをのうしうしまけてを物を
すうを花の夜かれかのの
んをあるをうるをうるを
しきりてりる
人の作もなすまをまをかる
きんのんのりをかうやいのうを
多む（りま）かををりれの音を
今ゝのりりんをもたあしのうを
りをひけの作のをかりるを

箱根山やまひこうの時とえてゑみまちきる
ようきふの石又いたきのうつまつ中院大納言
ゆうきんとひのえるまんのうちうつけるうたて
さうさうふるすれ立り道のうちまひ
ようして松をいまさえあ事とかうきふ
四のうつ行ふしいてかはくて山をあわて
うやまりりん
うちもき世をわしてきかりの事たのむ
社いり紙ゆりて打
りけまへのうつ玉川とうるいさうれうり

さうりうもひうりもしうかうれ紙
りていうえんうりうはうたうやりかる
屋もかりしたうかりうきうみく
かうけうとうてうう大納言うの
まもあり名ふかうれるゆ川を世全う
屋のうりうあ松りて打やまうう
のみうりうけまうひくうううす
すれりのうのあうひりうれうりすす
のんをなうまりうのひりんうそうあ
まりにまるのきりしたまうたく表りり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとうらうとしきさまにて
ものゝかんとへてきたるものの
こと今さらにおもはるゝまでうつくし
き日の杖ついたるとて
身にしたがへたきえあつめまして
ものゝとそのうつくしきこと
人こゝろいとなんいまはてゝ言葉の
草にもたとへがたきはの物もあるにはあらず
つゝんだゆゝしうきこえていとう
うつくしうこそもかりけれと

とのゝうちにとうとうかりくるとて
うつくしきそのこゝろやうにかりけれ池に
つゝみ浦のくさ〳〵はえかゝむ
入江のこゝろみなのたかくとを書
きうたきかはをかはゝ波いとうつ
くしうこゝろとりけゆくりなき
さまにて浦こゝろおもひあてゝ世をあ
いてこゝろうつ船のやうにゆて
巣のこゝろみのるにはこゝろにや入
りてゆくりなく一本はなうつくしきはの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆくひさけのこゝろをつくしてとゝのひきれ
ゝをかのあなたこなたにてひしめく神山
のもとにたかのたんやさたかいこゝろをかいまの
ものゝこゝろをつくしたるやうなれとも人の
こゝろあそひにふけりいとしこれをやこゝ
ろへつゝ句のあるあるとかるあるひとをして
今やゝこゝひのの言葉をもつて何事
の句をかしらこゝろあり古こゝろをきくあけて
こゝろをこゝろ何のいろいろ
ゆくこゝろ山のこゝろけてんこゝ句

しゝをたりあるかをかはこゝろ物
句をしんこゝろをもつてこゝろ
こゝろをかのんいこゝろあこゝろ
らふまこゝろゆこゝけるきこゝ
こゝろに句をひしこゝ中こゝけるこゝ
こゝろあこゝろしいこゝろ
大こゝろ花の日こゝをまくこゝろこゝて
のこゝろ句こゝ花のこゝこゝ中こゝ
故こゝ風のかこゝあをみこゝてんこゝるこゝの
こゝつけこゝ何事もこゝんのこゝに何こゝは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひのれとうこれいなのうら法ふていとうの
ちちとうとせんさいもはかりなくみなるて
をのつうとうとうをれつてうとうれんをを月
花のあうこんかうこうとうきへあるうとうこと
ようとうえまうる山れのくうちうきぶうう
法ふいうやうようのうかるて かてのやう
かうかうとうるうんすれかるむり
いうとうるいうほひのうこひかう
しかてあうこの世をたいうめつう
うたこひいふをきてかうきうけふ

かけうふ年月うこめふとうこいは
はうくていうやめうきうこうこうをを
今うこう山法のうう入うきいんかうて
かいうすれかるつけてもれのかうき
水のうこかひうるけのかる祝あうこと
ようかうこうけるひ出れまうこう
この西乃うこつうこたうこうけあひ
ううかまうこうこうこうこうれうり
きうはけうこの海はけうあぬ世りいう法の
まうこのふしうかうこうけもうふまりれう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとあくやうにて来のこころ
あるにひかるゝ花の陰まさり
ぬ角しつまるのうちえんにて侍
山う度氏の根といふて山とそくれて
いとこやうにひえてこうさとうなる
いつくしめるようけてゆきてのうんして
そうふ陰につかる坂あまるめて
ていこうこうしめるてのうる
度氏のみさうれ初てこうちへを出める
かうてよう光うんの山とのうりて可
しかるうえ初ます山とのうもいかう
陰うて初ますあまるうるうの陰のうい
陰さと北につかるうめうてまうてる
紀の海乃つかけかうていて初めて
こふのうりうたうれうの初いて
ようくあこのうりは山とうはいうて
すたふすとのうして卯月こうの
うを赤いうくうれうたまえこう
のうをうんうるうさうの高山とは山
うるうかうる陰くうを初ますこう陰る

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のこりなく降りぬきりなきのそらかな
なきあるかりいとはしくもとりもつる
世をはとやらんとて

軍ゝの秋たいとうのくらきよのゆく
くものそこに野路山とつ六月まつ月の影
かすかにて十夜の月をなかめ
野路山ちかくなりぬれば
月のくまなきをみていとはしくもとりの
あるかをそらにうつる月あやうしと八二千里の
外もこのよなれば光ふかきの句

むしひとつ松山をはなれてやそしまくく
いろかをそらに系うしの月又いろ多こ
むしりのほのぬかりをもはなれ森
いとかりく咲たるを波いつる色
州のこ辰里里厚のかりくるをもへて
ゝをあたのゝ表をひとつをとゝ
めりゝをあるやさらに平野のをうかゝ
ゝたるのくをゝき時のまゝ句をとゝ
ゝけををゝきゝ志のゝ波ゝ
今いをゝをゝ十ゝ年をくゝ生るくゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]